

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 1 0 月 1 4 日

東京地方裁判所民事第 2 1 部

裁判所書記官 相 田 亜由子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 1 0 月 2 9 日 午前 9 時 0 0 分から 令和 8 年 1 1 月 5 日 午後 5 時 0 0 分まで
開札期日	日 時 令和 8 年 1 1 月 1 1 日 午前 9 時 3 0 分 場 所 東京地方裁判所民事執行センター売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 1 1 月 1 9 日 午前 1 1 時 0 0 分 場 所 東京地方裁判所民事第 2 1 部
特別売却 実施期間	令和 8 年 1 1 月 1 2 日 午前 9 時 2 0 分から 令和 8 年 1 1 月 1 6 日 午後 5 時 0 0 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 3 3 条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 1 0 月 1 4 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1	14,890,000 11,912,000		2,978,000	86,123	18,454
					</



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 足立区保木間一丁目4番地6

建物の名称 レクシオ竹ノ塚ジーフォルム

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 保木間一丁目4番6の105

建物の名称 105

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 1階部分 51.61平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 足立区保木間一丁目4番6

地 目 宅地

地 積 1303.85平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 251851分の5458

物 件 明 細 書

令和 8年 9月14日

東京地方裁判所民事第21部

裁判所書記官 相 田 亜由子

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

管理費等の滞納あり。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、BITシステムのお知らせメニューにも登載されています。

物 件 目 録

1（一棟の建物の表示）

所 在 足立区保木間一丁目4番地6

建物の名称 レクシオ竹ノ塚ジーフォルム

（専有部分の建物の表示）

家屋 番号 保木間一丁目4番6の105

建物の名称 105

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 1階部分 51.61平方メートル

（敷地権の目的である土地の表示）

土地の符号 1

所在及び地番 足立区保木間一丁目4番6

地 目 宅地

地 積 1303.85平方メートル

（敷地権の表示）

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 251851分の5458



令和7年(ケ)第625号
令和8年6月15日受理
令和8年7月3日提出
(評価人 神川 清)

現況調査報告書

東京地方裁判所
執行官 白石 圭

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 足立区保木間一丁目4番地6

建物の名称 レクシオ竹ノ塚ジーフォルム

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 保木間一丁目4番6の105

建物の名称 105

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 1階部分 51.61平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 足立区保木間一丁目4番6

地 目 宅地

地 積 1303.85平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 251851分の5458



不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	東京都足立区保木間一丁目4番11-105号 レクシオ竹ノ塚ジーフォর্ম	
建物	物件1	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を居宅(空室)として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
管理費等の状況	管理費等の月額次のとおり 管理費 10,000 円 修繕積立金 16,370 円 専用庭使用料 700 円 自転車置場使用料 600 円	令和8年6月22日現在 ☐ 滞納はない ☒ 滞納がある 平成30年1月分～令和8年6月分 計 1,761,420 円 上記滞納金元金のほか、遅延損害金(年15パーセント)として 255,762 円がある。
管理費等照会先	株式会社穴吹ハウジングサービス	
その他の事項		
敷地権	符号1	
現況地目	☒ 宅地(符号1) ☐ 公衆用道路(符号) ☐ (符号)	
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
敷地権の種類	☒ 所有権(符号1) ☐ 地上権(符号) ☐ 賃借権(符号) ☐ (符号)	
その他の事項	なお、上記土地は北側及び東側において建築基準法上の道路(区道)に接面している。	
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 令和 年() 第 号 保管開始日 令和 年 月 日	
敷地権以外の土地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(2 枚目)

執 行 官 の 意 見

1. 本件対象物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
2. 本件建物の占有状況等は、次のとおりであった。
 - ① 集合郵便受けには建物所有者Aの氏が表示されていたが、玄関には表札等はなかった。
 - ② 初回臨場時及び立入調査時のいずれも不在であった。集合郵便受け内には、A宛の普通郵便物が複数存在し、Aと同じ氏で家族と思われるB宛の普通郵便物も1通存在した。
 - ③ 本件建物内には、家具・寝具・日常生活用品等の動産類が一切なく、電気、ガス、水道の供給は全て停止されており、空室の状況であった。なお、室内はクロスの痛みや剥がれ、収納扉に穴がある等の損傷が複数見られた。また、専用庭は雑草が生い茂っており、長期間手入れがされていないように思われた。
3. 本件建物の占有関係については、上記資料及び現場の状況等から、本報告書2枚目に記載のとおり認定した。

以 上

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年6月16日 8:40-9:12	物件所在地	☒ 物件確認 ☒ 物件調査 ☒ 占有調査 ☒ 写真撮影 ☐ 図面作成 ☐ 評価人同行 ☐ 居住者から聴取 ☒ 占有者に対する臨場日時通知書・照会書差置
令和8年6月16日	当庁	☒ 管理費等に関する照会書送付 (FAX)
令和8年7月1日 9:50-11:20	物件所在地	☒ 物件確認 ☒ 物件調査 (立入調査) ☒ 占有調査 ☒ 写真撮影 ☒ 図面作成 ☒ 評価人同行 ☐ 所有者から聴取

(特記事項)

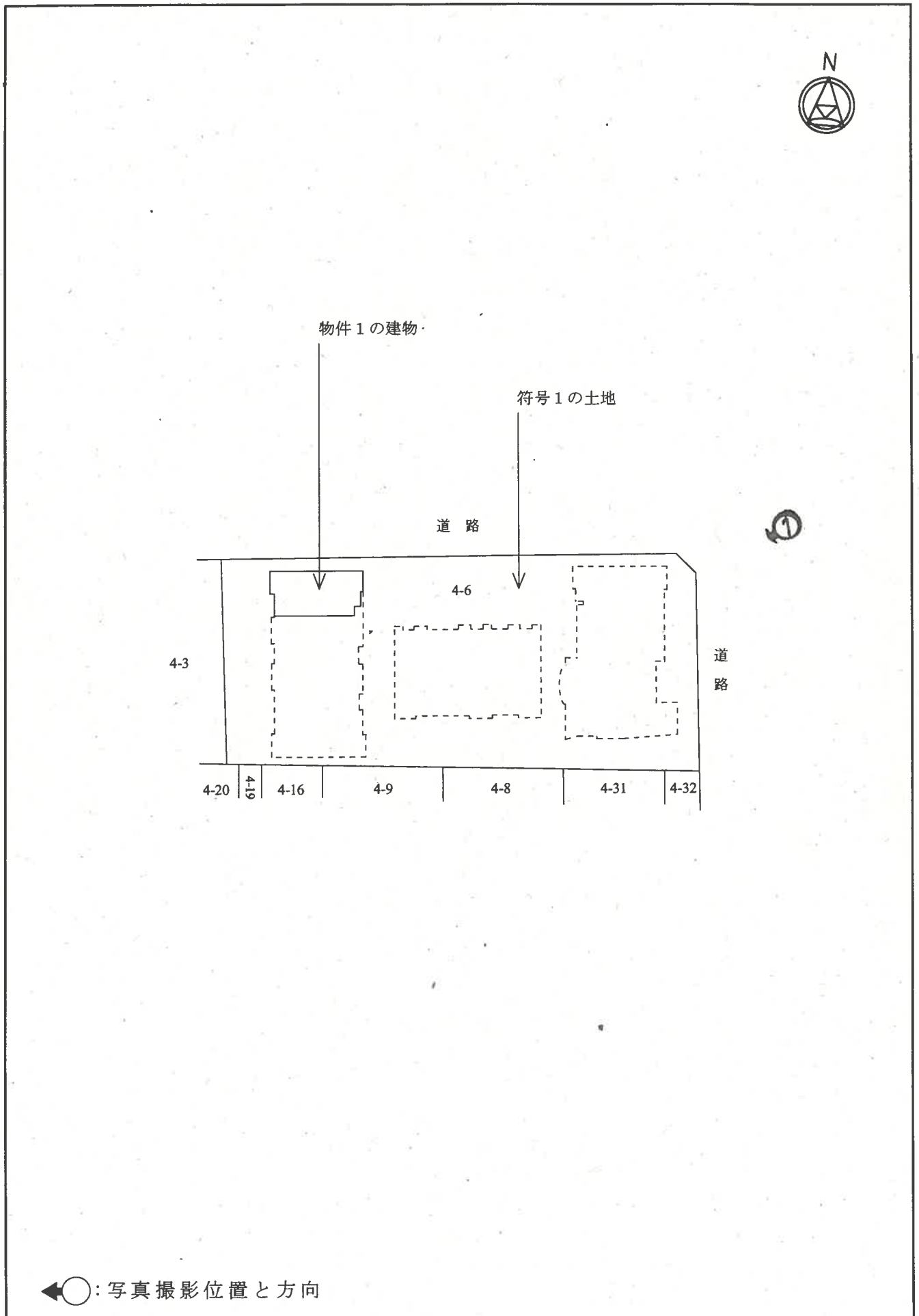
☐ 令和 年 月 日
 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行させて臨場した。

☒ 令和8年7月1日
 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人Cを立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

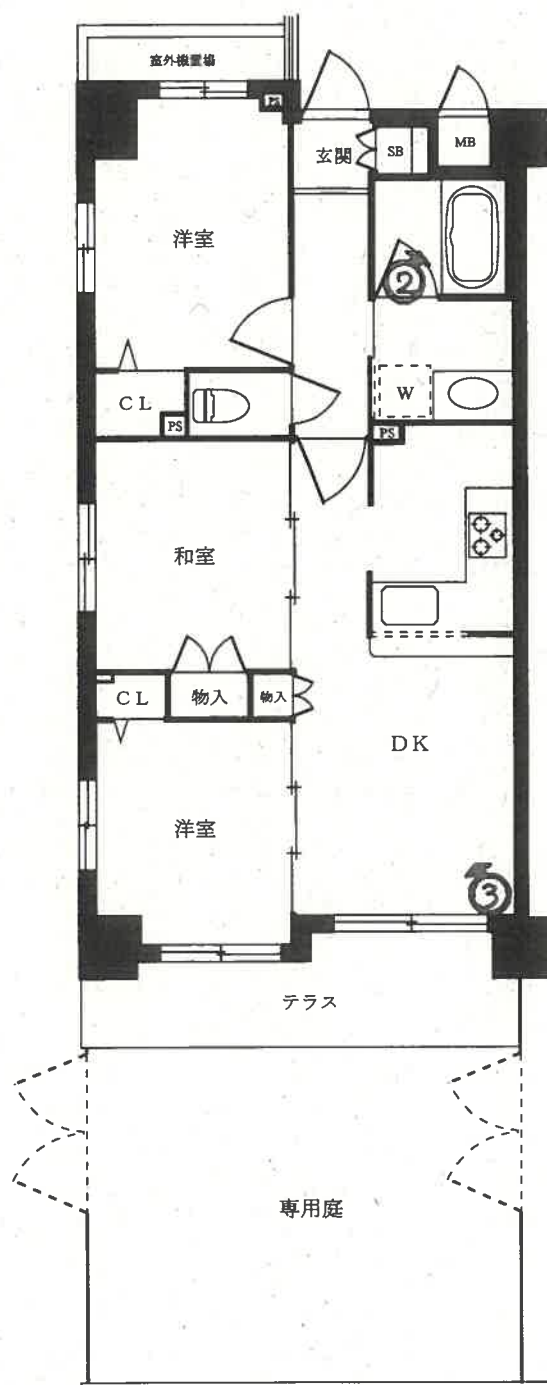
☐ 令和 年 月 日
 休日・夜間執行許可の提示をした。

(写真3葉添付)

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
 (4 枚目)



105



←○: 写真撮影位置と方向

01



02



03



令和7年（ケ）第625号
令和8年7月1日 現地調査
令和8年7月7日 評 価

東京地方裁判所 御中

評 価 書

評 価 人 神 川 清

第 1 評価額

物件番号	評 価 額
物件 1	金 14,890,000 円

第 2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物件の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。

- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。

- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり		(住居表示) 足立区保木間1-4-11 (マンション名、部屋番号) レクシオ竹ノ塚ジーフォーム 105
番号	特 記 事 項		
	なし		

* 現況欄に記載のない事項については、登記記録とほぼ同じである。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 足立区保木間一丁目4番地6

建物の名称 レクシオ竹ノ塚ジーフォルム

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 保木間一丁目4番6の105

建物の名称 105

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 1階部分 51.61平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 足立区保木間一丁目4番6

地 目 宅地

地 積 1303.85平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 251851分の5458

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

位 置 ・ 交 通	東武伊勢崎線「竹ノ塚」駅南東方約1580m(徒歩約20分) (距離は敷地端からの道路距離、附属資料「位置図」参照)		
付 近 の 状 況	マンション、戸建住宅が混在する住宅地域。		
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない一般 的な規制)	区分1 都市計画区分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 そ の 他 の 規 制	街区南側の道路から30mまで 市街化区域 準住居地域 60% 300% 防火地域 第3種高度地区 最低限高度地区(7m)	
	区分2 都市計画区分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 そ の 他 の 規 制	街区南側の道路から30m超 市街化区域 第1種住居地域 60% 200% 準防火地域 第2種高度地区 ※建築計画概要書によると使用可能な平均容積率は211.16%である。	
画 地 条 件	地 形 間 口 奥 行 地 勢	積 状 口 行 勢	1,303.85㎡(登記面積) ほぼ長方形 北側約52m、隅切約3m、東側約23m 北側道路から約24m 平坦
接面道路の状況等	北側：幅員約6m舗装区道(建築基準法42条1項1号) 東側：幅員約6m舗装区道(建築基準法42条1項1号) 上記に等高に接面する角地である。		
土地の利用状況等	後記一棟の建物の敷地として利用されている。 建物の配置は、附属資料建物図面・各階平面図写のとおり。		
供 給 処 理 施 設	上 水 道 都 市 ガ ス 下 水 道	あり あり あり	(基本的には前面道路 の施設管の有無を基 準とする)

敷地権の表示	敷地権の種類	所有権
	敷地権の割合	251851分の5458（登記記録）
特記事項	ハザードマップによると洪水の浸水区域にある。また内水氾濫の浸水区域にあるように見える。	

2 建物の概況

（1）一棟の建物の概要

マ ン シ ョ ン 名	レクシオ竹ノ塚ジーフォルム		
建 物 の 用 途	共同住宅（住宅46戸）		
建 築 時 期 及 び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建築年月日（登記記録） 経過年数 経済的残存耐用年数	平成19年11月30日新築 約19年 約31年	
構 造 ・ 延 床 面 積	鉄筋コンクリート造陸屋根6階建 延べ2,729.68㎡（登記記録）		
仕 様	外 壁 そ の 他	タイル、吹付タイル等	
設 備 等	エレベーター、エントランスオートロック、宅配ボックス、管理事務室、集会室、駐輪場、駐車場、ごみ置場。		
建 物 の 品 等	標準的		
管 理 の 形 態 等	管 理 組 合 管 理 会 社 管 理 形 態	あり 株式会社穴吹ハウジングサービス 委託	
管 理 の 状 況	普通		
特 記 事 項	なし		

(2) 専有部分の概要

構 造 ・ 種 類	鉄筋コンクリート造1階建・居宅		
位 置	1階に位置する角住戸（主たる開口部は西側、北側）		
床 面 積	専 有 面 積	51.61㎡（登記記録）	
	共用部分を含む現況床面積	59.15㎡	
間 取 り	3DK		
バルコニー等	バルコニーは西向き。専用庭に面する。		
仕 様	天 井 床 内 壁 設 備 そ の 他	ビニールクロス等 フローリング、畳等 ビニールクロス等 キッチン、浴室、トイレ、収納等 専用庭あり	
保守管理の状態	動産類はなく、清掃は不十分な状態で、ダイニングや和室の壁には落書きが見られた。ダイニングとキッチンの境のカウンターの角の下部には動物によるものかとも思われる引っ掻いたような損傷があった。廊下側洋室の天井のクロスは剥がれかかっていた。築19年なりの経年感があり、内装、建具類だけでなく水回りもリフォームを考慮する必要がある。専用庭は雑草が繁茂し、荒れている。		
管 理 費 等	管 理 費 修 繕 積 立 金 そ の 他 滞 納 額 遅 延 損 害 金	10,000円／月（令和8年6月22日現在、以下同じ） 16,370円／月 専用庭使用料700円／月 自転車置場使用料600円／月 1,761,420円（平成30年1月分から令和8年6月分） 255,762円（年利15%）あり	
専有部分の利用状況等	空家		
特 記 事 項	なし		

第5 評価額算出の過程

本件は区分所有建物の専有部分であり、地域の状況からみて買受人が投資用不動産として保有することも社会的・経済的観点から合理的と判断されるので、積算価格と収益価格を求めて、これらを調整して得た価格に基づき、競売市場を前提とした評価額を下記のとおり決定した。

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて下記のとおり建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡) ア	現況床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) エ
415,000	× 59.15	× 0.50	= 12,270,000

ア 再調達原価：一棟の建物全体の平均単価。

イ 現況床面積：固定資産税・都市計画税関係証明書記載の現況床面積(共用部分を含む)を採用。

ウ 現価率：

・経過年数約19年、経済的残存耐用年数約31年。リフォームも考慮した観察減価率20%。

・耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記のとおり査定した。

現価率：経済的残存耐用年数÷(経過年数+経済的残存耐用年数)×(1－観察減価率)

現価率＝31年÷(19年+31年)×(1－0.20)＝0.50 (小数第3位を四捨五入)

エ 建物価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

② 敷地権価格

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

更 地 価 格		地 積 (㎡)	建 付 減 価	敷地権の割合	敷地権価格 (円)
標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ				
321,000	×1.03	×1,303.85	×1.00	×5,458/251,851	= 9,340,000

ア 標準画地価格：下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。なお、標準画地は、近隣地域において土地の概況(間口、奥行、規模等)が標準的な中間画地を想定している。なお、マンション用地の評価なので方位は考慮しない。

公示地 足立-14

$$\begin{aligned}
 & \text{(公示価格等)} \quad \text{(時点修正)} \quad \text{(標準化補正)} \quad \text{(地域格差)} \quad \text{(規準価格)} \\
 & 310,000\text{円/㎡} \times 102.4/100 \times 100/100 \times 100/99 = 321,000\text{円/㎡} \\
 & \text{(上三桁未満四捨五入)}
 \end{aligned}$$

時 点 修 正：令和8年1月1日から評価日までの推定変動率である。

標準化補正：公示地等は標準的画地なので補正はない。

地 域 格 差：公示地等の地域は交通接近条件で劣ると判断した。

イ 個 別 格 差：角地で優ると判断した。

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：なし。

オ 敷地権割合：登記記録による敷地権の割合による。

カ 敷地権価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

2 積算価格（敷地権付建物の価格）

建物価格(円) ア	敷地権価格(円) イ	価格補正 ウ	個別格差 エ	占有減価修正 オ	積算価格(円) カ
(12,270,000)	+9,340,000)	×1.00	×1.01	×1.00	=21,830,000

ア 建 物 価 格：前記1①エ

イ 敷 地 権 価 格：前記1②カ

ウ 価 格 補 正：1.00(周辺中古マンションの価格水準を考慮した)

エ 個 別 格 差：階層別補正：0.94(3F=1.00)

位置別補正：1.02(角住戸)

その他補正：1.05(専用庭)

相乗積 $0.94 \times 1.02 \times 1.05 = 1.01$ （小数第3位を四捨五入）

オ 占有減価修正：なし。

カ 積 算 価 格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

Ⅱ 収益価格の試算（DCF法による）

目的物件は賃貸に供されていないので、評価時点においてリフォームの上新規に賃貸することを想定して収益還元法を適用する。

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される有効純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法（Discounted Cash Flow法）による収益価格を以下のとおり求めた。

但し、当該物件に関する収集可能な資料には限界があり、更に競売による売却後の現実の賃貸借は、当事者間の契約行為によるものであるので、必ずしも想定した賃貸条件に符合する内容が実現するものではない。

《DCF法による価格査定表》

3年間の有効純収益現価の合計 ア	正味復帰価格の現価					収益価格 ア+カ=キ
	4年目の有効純収益 イ	最終還元利回り ウ	3年目期末復帰価格※1 $イ \div ウ \times (1 - 0.03)$ エ	複利現価率※2 オ	正味復帰価格現価 エ×オ=カ	
(円) 729,655 (4.1%)	(円) 982,760	(%) 4.9	(円) 19,454,637	0.8713	(円) 16,950,825 (95.9%)	(円) =17,680,000 (100%)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格（イ÷ウ）の3%と査定した。

※2 複利現価率の計算式

$$1 \div (1 + 4.7\%)^3 = 0.8713 \text{ (小数第5位を四捨五入)}$$

ア 3年間の有効純収益現価の合計：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の有効純収益を、複利現価率で現在価値に割り戻した額の合計である。

イ 4年目の有効純収益：保有期間終了後（4年目）の有効純収益である。

ウ 最終還元利回り：4年目の有効純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに対象不動産の個別リスク等を考慮して査定した。

エ 3年目期末復帰価格：4年目の有効純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から対象不動産の売却に伴う仲介手数料相当額等を控除した価格である。

オ 複利現価率：一般市場及び競売市場での類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ 正味復帰価格現価：保有期間終了後に得られる正味復帰価格の現在価値である。

キ 収益価格：保有期間中に得られる有効純収益の現在価値と保有期間終了後の売却予測価格の現在価値の合計額で、1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

Ⅲ 評価額の判定

1 試算価格の調整

積算価格及び収益価格を下記のとおり試算した。

積算価格と収益価格には開差がある。収益物件としては、本物件はファミリータイプであるため採算性に劣り、築年数がやや大きいため競争力にも劣る。よって本件の価格決定に当たっては市場性を反映した積算価格を重視し、収益価格は参考として、調整後の価格を以下のとおり求めた。

① 積 算 価 格	21,830,000円
② 収 益 価 格	17,680,000円
③ 調整後の価格	21,400,000円

2 評価額の判定

調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、さらに滞納管理費等相当額並びにその他の控除（敷金等）を考慮して評価額を決定した。

調 整 後 の 価 格 (円) ア	市 場 性 修 正 イ	競売市場 修 正 ウ	滞納管理費等 相当額の減価 エ	その他の控除 (敷金等) オ	評 価 額 (円) カ
21,400,000	×1.00	×0.80	×0.87		= 14,890,000

ア 調整後の価格：積算価格と収益価格を調整した後の適正価格。

イ 市場性修正：減価の必要なし。

ウ 競売市場修正：「第2評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した修正を行った。

エ 滞納管理費等相当額の減価：滞納管理費等と代金納付に至る間の管理費等の予想滞納額及び確定している遅延損害金の額を考慮した修正を行った。

オ その他の控除（敷金等）：本件の場合なし。

カ 評価額：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

第6 参考価格資料

地価公示価格（足立－14）

所 在：足立区保木間1丁目23番10、「保木間1-23-16」

価 格：310,000円／㎡

位 置：「竹ノ塚」駅1.7km

価 格 時 点：令和8年1月1日

地 積：187㎡

供給処理施設：水道、ガス、下水

接 面 街 路：東6m区道

用 途 指 定 等：第1種住居地域（建ぺい率60%、容積率200%）、準防火地域

地 域 の 概 要：一般住宅のほかに都営住宅等が見られる住宅地域

第7 附属資料

位置図

公図写

建物図面・各階平面図写

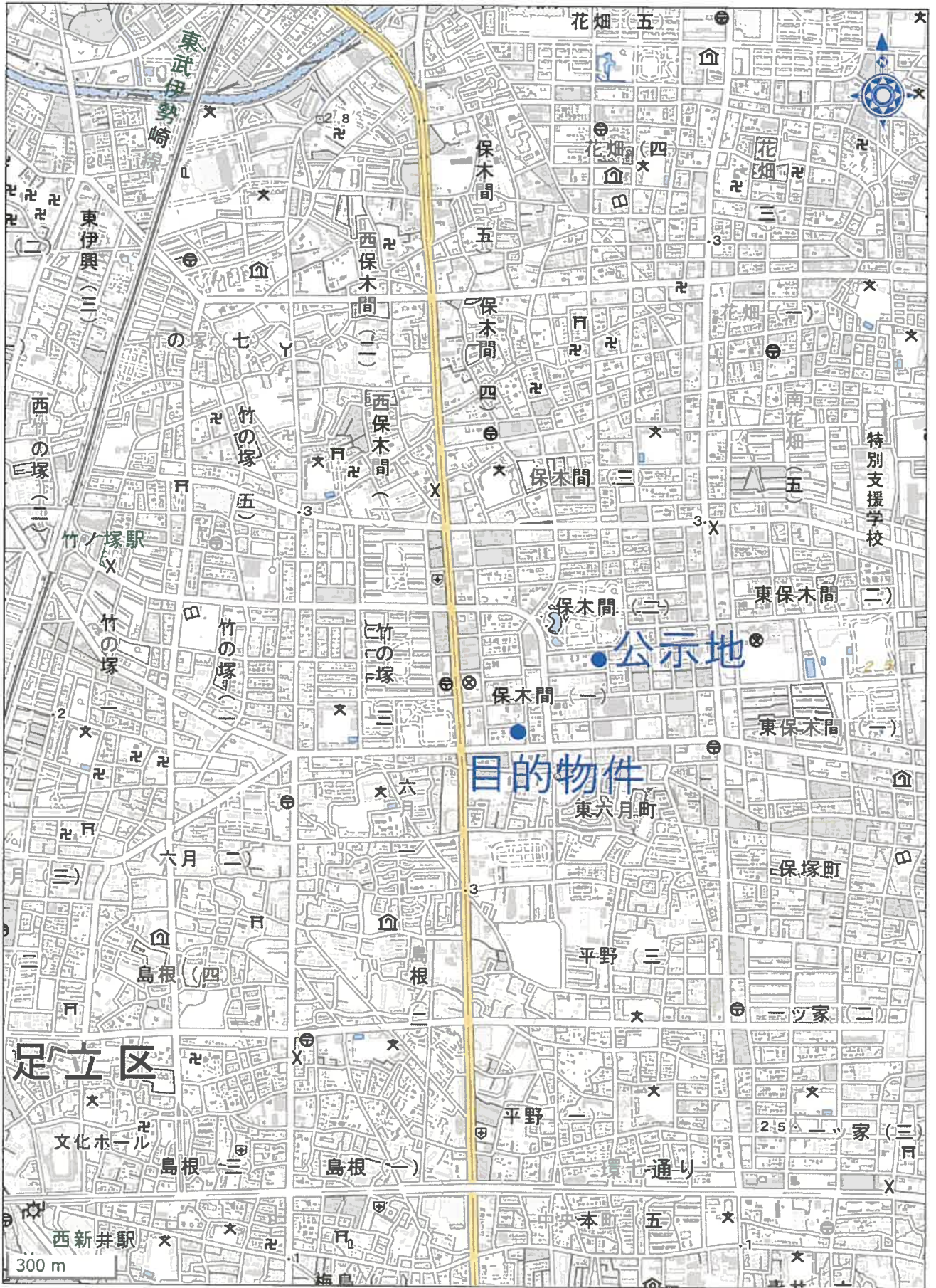
以 上

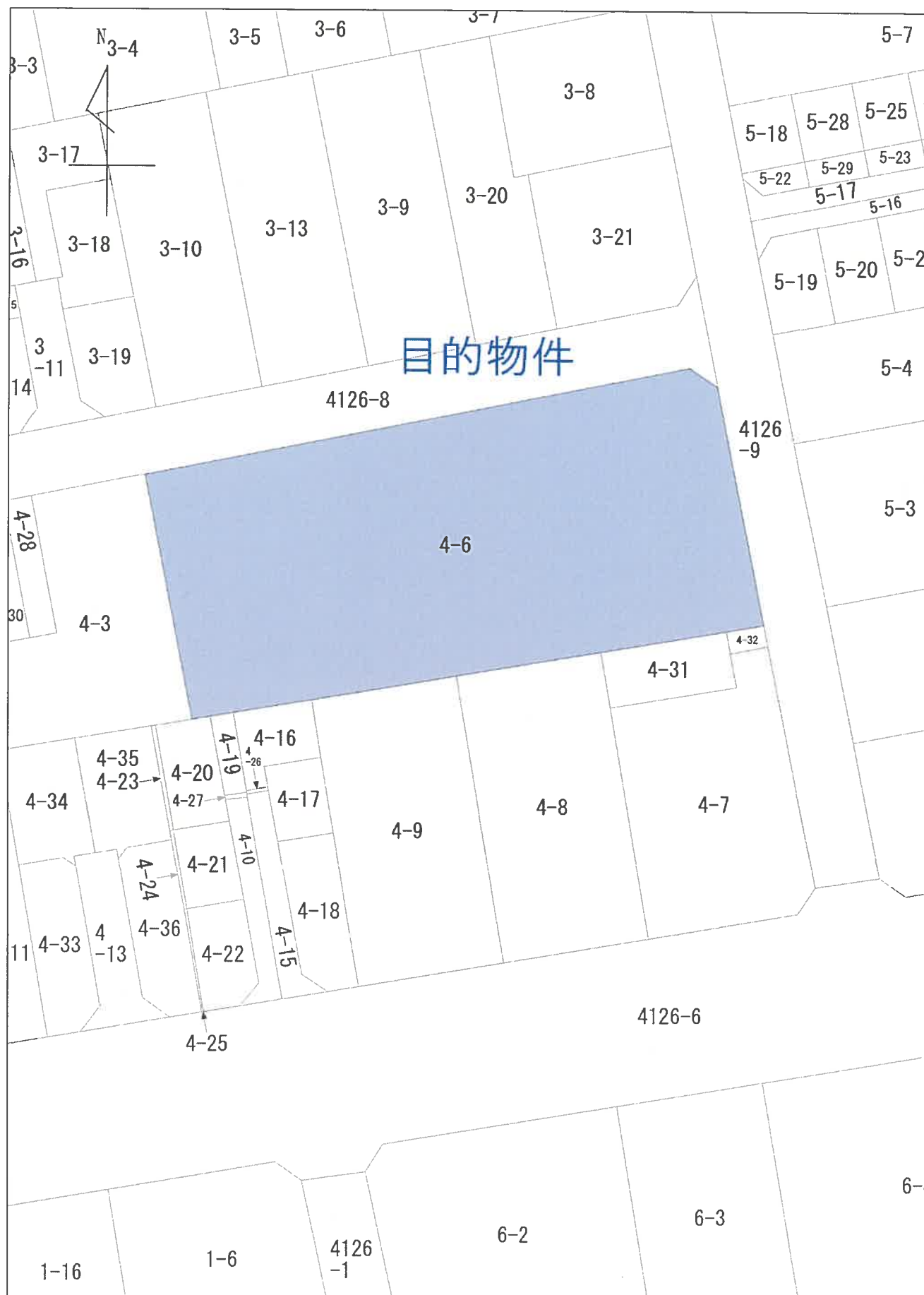
令和8年7月7日

評価人 不動産鑑定士

神 川 清

位置図





登記年月日 平成20年2月12日

これは図面に記載されたい内容と正確に一致するものと見做す。
令和7年10月31日 東京法務局登記部

各階平面図

建物平面図

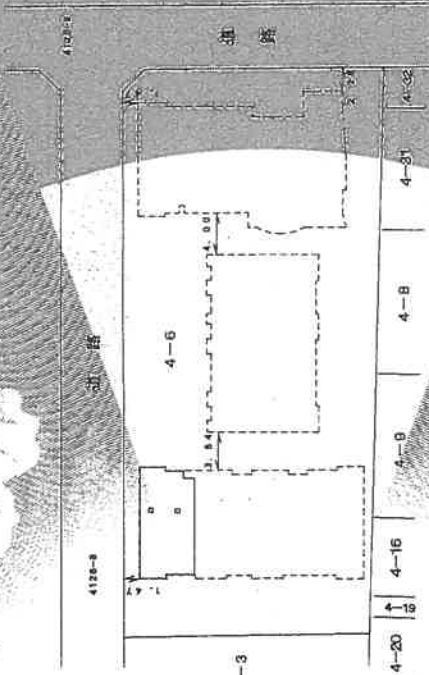
家屋番号	保木間一丁目 4-6-105
建物の所花	足立区保木間一丁目 4番地6



求積表

0.350	×	2.475	=	0.8663
9.150	×	5.170	=	47.3055
0.700	×	4.135	=	2.8945
0.350	×	2.385	=	0.8348
0.304	×	0.474	=	-0.1441
0.374	×	0.374	=	-0.1399
計				51.6171

床面積 51.61 m²



作成者

主作説

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

499585 (東京土地家屋調査士会所属)

地図整理番号: M39856

(原寸A3をA4に縮小)